

生ごみ処理器

プランターdeキエーロ 使い方



横幅70.5cm × 奥行39.5cm × 高さ25.8cm 容量45ℓ



※神奈川県葉山町のキエーロ葉山さんが考案した生ごみ処理器「キエーロ」をプランターで作製したものです。

特 徴

●どこにでも設置できる

※場所を取らないキエーロ入門タイプで、庭でもベランダでも場所を選ばず設置可能です。

●維持費がかからない。

※土の中にもともといるバクテリアが生ごみを分解するので、特別な菌・電気代等の維持費がかかりません。

●土が増えない。

※バクテリアが生ごみを分解してしまうので、中の土が増えることはありません。

●臭いが少なく虫が湧きにくい。

※生ごみ処理器の中では、使い方が簡単で臭いが少なく、虫が湧きにくいタイプです。

※プランターdeキエーロは、小型で処理量も少ないので、消えやすいものを選んで入れるようにしてください。

●肥料として利用できる。

※生ごみを分解した土は、肥料として使うことも可能です。

- ・肥料として使う場合は、塩分の多い生ごみは控えるようにしてください。
- ・肥料とするには、1ヶ月以上おいて完熟させてください。
- ・肥料として使った分は土の補充が必要になります。

準備

「土」「スコップ（植栽ごて）」「水」を用意する。



- ※黒土(推奨)等を入れるか、畑や花壇の土を入れてください。
- ※このプランターの容量は45Lですので、ごみの量にあわせて調整してください。
- ※設置場所は、なるべく日当たり風通しの良い場所を選んでください。

使い方

①穴を掘る



- ※20cmぐらいの深めに穴を掘る。
- ※穴が浅いと、生ごみの臭いがしたり、虫が寄ってくる原因になります。
- ※スコップ等を利用すると便利です。

②生ごみを入れる。



- ※生ごみは、細かくしておく分解がより早くなります。

③生ごみと土をよく混ぜる。



※土と生ごみが直接触れ合うことで分解が進みます。
※土と見分けがつかなくなるまでよく混ぜてください。
※大きいものは、スコップ等で砕いて細かくしてください。
※分解が進むための大切な作業です。

④水分が少ない場合は、水を加える



※すべての食品は事前に水切りする必要はありません。
※水分が少ない場合は、別に水を加えてください。
※水を加える目安は、泥だんごが作れるぐらいです。

⑤表面に乾いた土をかぶせる。



※生ごみが見えないようにしっかりかぶせてください。
※表面に乾いた土をかぶせることで、臭いを防止し、虫の発生を防ぎます。

⑥埋める場所を変えながら繰り返します。



※分解に夏場は5日、冬場は2週間ほどかかります。
※前回埋めた場所も空気を入れるように混ぜると分解が早くなります。

★生ごみで入れていいもの、悪いものは、P4の「キエーロ」好き嫌いメニューを参考にしてください。
★臭いや虫が気になる場合は、動物性の物を控えるとより少なくなります。

問合せ先
平群町住民生活課 環境係
TEL 45-1439(内線315～317)

「キエーロ」好き嫌いメニュー

※人間の胃袋で消化できない物はキエーロも苦手、嫌いです。無理して投入せず、可燃ごみの収集も利用してください。

好きなもの

【大好き】



傷んだ野菜・くだもの、火や湯を通した野菜・くだもの、魚の内臓・煮汁、生肉・脂身、ラーメン・みそ汁・カレーなど調理品の残り物、傷んだ弁当や残飯・デザートなど期限切れのジャム・バター・塩辛・菓子、お茶がら・コーヒーかす、食用油(廃食油)、ドレッシング、焼き肉のたれ、飲み残しのお酒、ジュース、残った揚げ物、もみがら、米ぬか

【好き】



野菜くず、野菜の皮、くだもの(果肉)、くだもの皮、火を通した魚や肉、パン、ご飯、麺類
※「大好き」は特に分解が早いです。「好き」は細かく刻んで混ぜればOKです。

嫌いなもの

【大嫌い】



貝殻、鶏肉などの骨、タケノコやトウモロコシの皮、栗の皮、かぼちゃ・梅干し・アボカド・ゴーヤ・モモなどの大きな種
【嫌い】



レモンやグレープフルーツなどかんきつ類の皮、とうもろこしの芯、玉ねぎの皮、枝豆のサヤ、スイカや冬瓜の皮、キャベツなど野菜の芯、ごぼう・人参などの根菜類、ブロッコリーの太い茎、昆布、魚の大きな頭や骨、たまごの殻、カニやエビの殻

「埼玉県飯能市のホームページ」を参考にしています。